

入 札 仕 様 書

個人用多用途透析装置の購入

令和8年7月

南和広域医療企業団

第1 物品名及び数量

個人用多用途透析装置 一式

第2 総則

- 1 本機器が完全に稼働するために必要な本機器の納入にかかる経費をはじめ、運搬費、搬入費、据付費、ネットワーク作業費及び調整費等を含めた作業に要する経費、養生材料費、報告書作成費、操作等の説明または教育に要する経費等の諸経費を含めた経費は、全て落札者が負担すること。
- 2 本機器におけるアプリケーション等については、納品時点における最新の仕様で納品すること。
- 3 本機器の設置に当たっては、南和広域医療企業団（以下「企業団」という。）の承認を受けてから設置工程に入ること。

第3 本機器の構成及び機能要件

1 本機器の構成

調達機器品名

日機装株式会社製 個人用多用途透析装置 DBB-200Si-AWF 一式
(機器構成)

別紙のとおり

- 2 本機器の構造・機能に関し、下記の機能要件をすべて満たすことを必須とする。
 - ア 装置外形寸法（突起物を含まない）は、W330×D470×H1,345(mm)以内であること。
 - イ 装置重量（標準仕様）は、60kg 以内であること。
 - ウ 最大消費電力は、1.5kW 未満であること。
 - エ 透析液流量は、300～700ml/min が可能であること。
 - オ HD、ECUM、オンライン HDF/HF、オフライン HDF/HF、IHDF の透析治療モード全てに対応していること。
 - カ オンライン HDF 機能（QS コントロール）を有していること。
 - キ 透析液（正ろ過方式）を使用したプライミング、返血に対応していること。
 - ク 血液回路のプライミングの自動化、及び血液脱血工程、緊急補液、返血工程の自動化機能を有すること。
 - ケ 清浄化にて液たまりのない構造のキャンド型カスケードポンプを採用していること。
 - コ 自己診断機能を有し、安全性を確保すること。
 - サ 補液ポンプの流量設定範囲は、最大 24L/h まで可能なこと。
 - シ 血圧計ユニットが内蔵されていること。
 - ス 血圧計は直線加圧方式を採用していること。
 - セ 治療前後や治療中に測定された最高血圧、最低血圧、脈拍データを測定された時刻とともに自動的に時系列で透析用監視装置へ記録・蓄積する機能を有すること。

- ソ 血漿ろ過率と血流量・除水速度・Ht.・TP から補液流量を算出し、設定することができること。
- タ ダイアフラム式圧力測定用ポッドによる静脈圧測定対応の血液回路を使用し、自動プライミング・返血を行うことが可能なこと。
- チ 血流量、透析液流量を最大 10 ステップまで細かくプログラム設定することが可能なこと。
- ツ 透析通信システムと連携し、透析通信システム上で監視装置の動作状況を確認することができること。
- テ IHDF において、補液量と回収量を各々最大 16 ステップまでプログラムを設定することができること。
- ト BV 計が搭載され、循環血液量の変化率を測定することができること。
- ナ 循環血液量の変化率をもとに、除水速度を制御する機能を有すること。
- ニ 体外循環血流量測定機能を有すること。
- ヌ VA 再循環率測定機能を有すること。
- ネ 静的静脈圧監視機能を有すること。
- ノ 治療中に透析排液の UV 吸光度変化率を連続的に測定することで spKt/V と URR を算出し、グラフ表示することができること。
- ハ エンドトキシン捕捉フィルタは装置前面に配置し、カートリッジ式を採用したことにより簡便に取り外しが可能なこと。
- ヒ 自動プライミング時の洗浄液を外部に漏洩することなく捨てることのできる機能（排液ポート）を有すること。
- フ オプションにより装置の警報・報知のメール配信及び稼働状況の遠隔モニタリングを可能とする、遠隔監視サービス「ReMS」への接続ができること。
- ヘ オフラインHDF/HF 治療に対応するオプションを有していること。
- ホ 補液荷重計ヒーターユニットを取付けでき、補液荷重計・補液ヒーター・補液液切れ検出器の機能を有すること。

第4 本機器の性能等以外の要求要件

1 設置条件

本機器の設置条件は、以下の要件を満たすこと。

- ア 企業団担当者が指定する場所へ設置すること。
- イ 契約締結後速やかに、搬入日時及び搬入経路等について、企業団担当者と協議し、その結果を書面にて報告すること。
- ウ 物品の搬入・設置等に際しては、病院業務に支障をきたさないよう企業団担当者の指示に従うこと。また、施設・設備等に損傷を与えないよう細心の注意を払うこと。
 なお、万一損傷等を与えた場合は、直ちに企業団担当者へ報告し、落札者の費用負担により速やかに原状回復を行うこと。
- エ メーカー名・規格・型番等が明確に確認できるものを用意しておくこと。確認できない場合は、検査不合格とする。

- オ 医療情報システムに接続する必要がある場合は、接続関連費用を本調達内に含めること。
- カ IPアドレス設定は、病院体系に従うこと。
- キ 落札者の責任範囲については、設置場所への搬入、据付、配線接続、試運転調整及び動作確認等を行うこととする。
- ク 接続に関連する仕様確認、テスト、リハーサル立会及び本稼働立会などの業務を行うこと。
- ケ 落札から納入までに装置の仕様変更やソフトのバージョンアップがあった場合は、企業団と協議の上、最新の仕様にて引き渡すこと。
- コ 設置に際して、設置室内等の変更工事（1次側電源工事等も含む。）が必要となる場合は、全て落札者の責任として本装置の稼働に支障が無いように工事、調整を行うこと。
- サ 納入物品一式（全品）のリストを書面で2部以上及び電子データで提出すること。
- シ 設置工事期間の工程を企業団担当者と事前に打ち合わせ、その指示に従うこと。
- ス 上記アからシまでに関して発生する費用は、全て落札者が負担すること。

2 その他

その他の事項に関して、以下の要件を満たすこと。

- ア 本機器の日本語操作マニュアルを書面及び電子データ（pdf形式）で提出すること。
- イ 簡易説明マニュアルを書面で2部以上及び電子データ（pdf形式）で提出すること。
- ウ 取扱説明に関する導入時教育訓練は、企業団担当者が指定する日時、場所で行うこと。
- エ 本機器の試運転及び取扱説明に関する導入時教育訓練に必要な消耗品等は、落札者の負担において用意すること。
- オ 納品日以降1年間は本機器の性能を無償で保証すること。
- カ 納品日以降1年間は故障、保守等の対応を無償で行うこと。
- キ その他、本仕様書に記載のない事項については、適宜、企業団担当者と協議すること。

以上

個人用多用途透析装置 機器構成

個人用多用途透析装置 DBB-200Si

メーカー	機器名	数量
日機装株式会社	個人用多用途透析装置 AWF	1 式
	圧ポッド	1 式
	補液ポンプ	1 式
	推定血流量モニター	1 式
	BV計 (△SO ₂ 機能なし)	1 式
	移動用セット	1 式
	補液荷重計ヒーターユニット	1 式
	ダブル微粒子濾過フィルター	1 式
	吸光度センサー (透析量モニター)	1 式
	排液ポート	1 式
	透析液ポート C タイプ	1 式
	加圧測定方式血圧計 (指向き)	1 式
	緊急時返血	1 式
	ダイアライザーホルダ DLC-05	1 式
ナースコール	1 式	